

佐藤学長が、兵庫県社会福祉事業団柏理事長と、「介護個別相談会」の協働実施について合意しました

兵庫県社会福祉事業団は、兵庫県が1964年に設置した県内最大の社会福祉法人です。総合リハビリテーションセンターをはじめ、現在63カ所で93施設を運営、2,981人の職員が働いています。同事業団の柏



(かし) 由紀夫理事長と佐藤雅美学長が合意し、事業団からの専門家派遣による教職員対象「介護個別相談会」を、今月から実施することになりました。柏理事長からは、「介護保険制度等制度が充実してきており、介護と仕事を両立できる手立てはあるので、ぜひ相談いただきたい。事業団は全県に施設も専門家ももっているの、離れて住む親ごさんについても、将来への不安等も含めて気軽に相談いただければ。」とお話がありました。佐藤学長も、「介護離職や1人で追い詰められることがないよう、大学としても、事業団と協働して支援していきたい」と述べました。

介護個別相談会を開始しました(予約制)

社会福祉法人兵庫県社会福祉事業団と提携して、介護の専門家による個別相談会をはじめました。介護についての様々な個別の事情や将来の不安などについて相談してみませんか。

実施日 毎月第3火曜日
 時間 11時45分～13時45分
 1回につき30分(予約制)
 場所 予約者の希望のキャンパス

詳細についてはホームページをご覧ください。
https://www.kobegakuin.ac.jp/information/kyodo_sankaku/kaigosoudan.html

介護リーフレットを配布しています

本学の介護支援制度の一覧や、国や地域の介護サービス・相談先を紹介したリーフレットを配布しています。「まだ介護は必要ないけど…」という方も、その時のためにぜひ一度ご覧ください。追加部数を必要とされる方は、男女共同参画推進室へ。

男女共同参画週間記念フォーラム第2回「女性活躍推進と仕事のしかた～公務員として働く～」を開催

先にポスターでお知らせしていますが、下記パネリストによる、男女共同参画週間記念フォーラム第2回を開催します。公務員志望の学生さん等にも、ぜひお声がけください。

- 日時 2019年7月2日(火) 9:30～11:00
- 場所 D313教室
- コーディネーター
大久保和代 兵庫県企画県民部女性青少年局長
- パネリスト
田中純子 神戸市行財政局業務改革課担当係長
岩原直子 兵庫県企画県民部県民生活課長
木村晶子 兵庫県産業労働部経営商業課長

神戸学院大学 男女共同参画推進室
 住所 神戸市中央区港島1丁目1番地3
 電話 078-974-1551(代表) 内線84453
 078-571-0927(直通)
 メール danjokyodo@j.kobegakuin.ac.jp

神戸市からの委託事業「こうべ男女いきいき事業所 大学生による情報発信事業」の取り組みが始まりました

男女共同参画推進室では、今年度、神戸市「男女いきいき事業所」表彰の企業について、大学生の視点から情報発信する上記事業を、神戸市から受託しています。4つの学部の学生が書いた企業訪問の記事を神戸市HPにアップしたり、シンポジウムを開催したり等します。

5月から6月にかけて、大濱慶子ゼミ(グローバル・コミュニケーション学部2年次生)による中日輪船商事(株)訪問(写真右下)、清原桂子ゼミ(現代社会学部3年次生)による(株)奥谷金網製作所、及び(株)ロック・フィールド訪問が始まりました。学生たちは、社内見学とともに、女性活躍や仕事の仕方等について、社長や社員の方々と活発な意見交換を行いました。

各ゼミでは、これらの訪問結果をゼミ内で議論・検討しながら、今後記事にまとめていきます。

**6月3日(KPC)、6月5日(KAC)、ランチミーティングを開催しました**

17名が参加しました。他部署とあまり連絡のない部署では、人間関係も広がりやすく何気ない会話をすることも少ないため、職員・教員の区別なく、交流の機会が欲しいという意見が出ました。また、育児や介護、自分自身の体調不良などによる突然の休暇・休業は誰にも起こりうることなので、例えば「ありがとう」や「大丈夫ですよ」の一言など、「お互いさま」を支えるコミュニケーションを普段から心がけたいと話しました。

ランチミーティングに「会議」のような硬いイメージを持っておられた方もありましたが、両キャンパスとも和気あいあいとした雰囲気の中、昼食をもちよって活発に情報交換・意見交換しました。